



ニコニコ箱

ありがとうございました

- 寺下 卓さん (ゲスト) 本日、卓話よろしくお願いします。
- 中村 靖男さん 新年に当たり、和歌山東R.C.全員の元気な写真を頂き有難うございました。クラブの益々の発展を祈ります。
- 名手 功さん 本日より出席、今後共よろしく申し上げます。
- 岡野 年秀さん 名手さんご無沙汰です。
- 谷口 文利さん 名手さん、待ってました。
- 笹島 良雄さん 寺下副委員長さん、本日は有難う御座いました。
- 岸裏 廣澄さん 岡野さん写真ありがとうございます。
- 角谷 芳伸さん 岡野さん写真ありがとうございます。
- 瀧川 嘉彦さん 寺下様、本日はわざわざお越しいただきありがとうございます。卓話よろしくお願ひ申し上げます。
- 乾 敦雄さん 岡野さん写真ありがとうございます。
- 野上 泰造さん 寺下様、よろしくお願ひします。
- 古屋 光英さん 名手さん、待ってました。これからもよろしく。
- 山本 進三さん は節分。ようやく厄年も終わりました。今年は良い年でありますように。
- 阪神タイガース応援団一同

【本日の累計 35,189円(計13名 14件)(お誕生日お祝い 405,000円 皆出席表彰 40,000円 その他 1,563,029円) 累計額 2,008,029円】

本日の例会 2月10日(木) 前回の例会 2月3日(木)

- 卓話「筆界特定制度について」
和歌山地方方法務局 登記部門 総括表示登記専門官 高橋 悟さん
- 皆出席表彰
真野 賢司さん 25年皆出席通算25年
岡野 年秀さん 1年皆出席通算19年
山本 進三さん 1年皆出席通算14年
角谷 芳伸さん 1年皆出席通算 7年
瀧川 嘉彦さん 1年皆出席通算 4年
- ピアノ演奏
エデンの東(Leonald Rosenman)
嘘は罪(Billy Mayhew)
- クラブフォーラム「世界社会奉仕」
- 卓話「ロータリーのWCS活動について」
2640地区世界社会奉仕委員会副委員長 寺下 卓さん (海南東R.C.)
- ロータリーソング 黒田 純一 ソング委員長
「奉仕の理想」
- ビジター紹介 赤井 雅哉 親睦委員長
和歌山東南R.C. 稲葉 敏彦さん
- 出席報告 真野 賢司 出席副委員長
会員数 50名(内出席規定適用免除会員11名)

2月 3日(本 日)	32名	72.7%
1月20日(メーキャップ後)	40名	88.9%

次回の例会 2月17日(木)

- 創立52周年記念例会

クラブ名	日 時	内 容
和歌山城南R.C.	2月10日(木)	卓話「住宅ローン市場の大転換とモーゲージプランニング」 NPO法人日本モーゲージプランナーズ協会理事長 井村 進哉さん
和歌山南R.C.	2月11日(金)	祝日休会
和歌山中R.C.	2月11日(金)	祝日休会
和歌山北R.C.	2月14日(月)	例会変更
和歌山アゼリアR.C.	2月14日(月)	例会変更
和歌山R.C.	2月15日(火)	卓話「聴き上手になる」WBS報道制作局アナウンサー 宮上 明子さん
和歌山サンライズR.C.	2月15日(火)	
和歌山西R.C.	2月16日(水)	卓話「タスマニアを訪問して」西沢 光照会員
和歌山東南R.C.	2月16日(水)	例会変更

●メイキャップ状況● (敬称略)

1月31日(月) 和歌山北R.C. 藤井 義宣 / 2月 4日(金) 和歌山南R.C. 堀岡 忠男、八幡 建二

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073) 424-9392 例会日 木曜日 12時30分
事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845
創立/1959年2月23日 会報・広報委員会 谷口 文利 笹島 良雄 岡野 年秀 堀岡 忠男 角谷 芳伸



BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS

「地域を育み 大陸をつなぐ」

「地域に広げよう、友情の輪」

国際ロータリー 第2640地区 和歌山東ロータリークラブ

URL http://www.werc.jp E-mail info@werc.jp

2011年 2月10日(木)

週報 / VOL.52 No.28(通巻2483)

会長報告

野上 泰造 会長



皆様、こんにちは。会長報告を申し上げます。

東南ロータリークラブの稲葉様、ようこそおいで下さいました。ごゆっくりとおくつろぎ下さい。また地区の世界社会奉仕委員会から寺下副委員長様には、本日の卓話を宜しくお願ひ致します。

さて、相撲界では八百長問題が持ち上がって、大変な騒ぎになっています。明治時代に八百屋の店主「長兵衛」さんは、ある相撲部屋に野菜を卸、生計を立てていました。そしてその部屋の年寄・伊勢ノ海五太夫と囲碁を打ち交わす仲でした。勝ったり負けたり、勝負はいつも互角でした。そんなある日、大きな囲碁の大会が開かれ、長兵衛さんも参加しました。あれよあれよと勝ち進み、最後は本因坊秀元にまで勝ってしまいました。そこで世間では、野菜を買って貰うためにいんちきをして年寄と互角の勝負をしていたことから、真剣に争っているようにみせながら、事前に示し合わせた通りに勝負をつけることを八百長と呼ぶようになったそうです。

今でも、接待ゴルフや接待麻雀などは疲れますが、ロータリーでの、ゴルフやボーリング大会などは八百長の無い楽しい付き合いをしたいものです。

幹事報告

古屋 光英 幹事



2月17日、次々回例会は創立52周年記念例会です。在籍表彰を行います。必ずご出席をお願いします。

委員会報告

ロータリー情報規定委員会

岡野 年秀 委員長



本日、後 亮会員の入会歓迎会開催のご案内をさせて頂いています。2月17日(木)午後6時30分から、場所はあおい茶寮です。ご出席宜しくお願いします。

卓 話

ロータリーのWCS活動について

国際ロータリー第2640地区WCS副委員長 寺下 卓さん
(海南東RC)

本日は、お招きをいただき、誠に有難うございます。今日は節分で明日が旧正です。

日頃は、地区のWCS委員会活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私は、地区では職業柄、9年前からIT委員会でお世話になっておりますが、自分のクラブでは、世界社会奉仕活動(WCS)に長くかかわっており、地区でもWCS委員会と2つの委員会に所属しています。本日の卓話は、今月は世界理解月間でもあり「ロータリーのWCS活動について」お話しさせていただきます。宜しくお願いします。

当地区の世界社会奉仕(WCS)委員会の取り組みですが、既にご承知のように、基本姿勢として、水管理、識字、保健・飢餓問題を重点に「IM又はクラブ単位でのクラブ主導型のWCS(世界社会奉仕)活動」を推奨しています。

WCSの取り組みにつきましては、1962年から、2カ国以上のロータリークラブが共同でプロジェクトを実施することを基本にスタートしました。また、RIでは、1967年からはWCSプロジェクト交換事業が開始され、プロジェクト交換一覧のデータベースを活用して、パートナー探しを支援しています。なお、資金については、ロータリー財団補助金プログラムとして、マッチング・グラント・プロジェクトを活用するなど、いくつかの補助プログラムが用意されていますが、これらの補助プログラムは、手続きが難しく、制約も多いことから、活用しづらいという欠点もあります。

このため、当地区では、独自の「WCS地区ファンド補助金」を設け、出来るだけ多くのクラブが自主的に活動してもらえる制度として、活用いただいております。

地区ファンドの資格要件は、最低2カ国(プロジェクト実施国以外の援助国およびプロジェクト実施国)のロータリークラブあるいは地区が、協力してプロジェクトを計画、実施、完了するものとし、事前に地区に申請し、承認を受けていただきます。地区ファンド金額は、会員一人当たり年間6,000円(上限)の同額補助となっています。次年度は10,000円まで引き上げる予定です。地区内の各プロジェクトは、年度単位でホームページに掲載していますので、是非、ご覧ください。また、会員規模の関係で地区内の複数のクラブが共同して参加してもらうことも出来ます。

なお、WCSの情報や参考資料等は、最近ではホームページで、かなり詳しく掲載されています。是非一度ご覧いただきたいと思えます。

なお、和歌山東RC様では、長年、カンボジアの孤児院の支援を続けられており、私も以前、「脈々と支援続けて10周年」カンボジア・スナーダイクマエ孤児院 訪問記の素晴らしい報告を読ませていただきました。

なので、すでに私がご説明させていただく以上に当クラブの皆さんはWCS活動に熟知、精通されており、あえて申し上げることはないと思います。特に、私は地区のIT委員も長く、地区のホームページをずっと担当させていただいた関係で、貴クラブをはじめ、WCSや活動の紹介もさせていただき、各クラブの情報も勉強させていただく機会を得ましたが、実際、WCS活動については、報告では書きつくせない、ご苦労と大変さがあります。プロジェクトの実施にあたっては、現地との地道なやり取りや準備など大変だったと思いま

す。私もある意味で、皆さんと同じ立場ですので、関係の皆さんのご努力に深い敬意を表したいと思います。

それでは、次に地区のWCS委員会について、少し触れさせていただきます。地区委員は、原則的に地域担当(暗黙の了解)で役割分担しています。日本のロータリーの支援国ベスト3は、地理的なこともあり、タイ、フィリピン、インドネシアで、日本のRCのプロジェクトの実績の多くが、この3カ国になります。このため、当地区でも概ねこの方面の担当があります。ちなみに、私はフィリピン担当です。そして、地区のWCS海外視察はこれまで、この3カ国へ行ってきました。今年、当初、タイを予定していましたが、急遽、タイ情勢の都合から、また、フィリピンに行くことになりました。そんなことで、私がまた担当することになりました。

そこで、私事で恐縮ですが、私の担当するフィリピンのWCS活動について、少しお話させていただきます。手前みそになりますが、私の所属する海南東RCですが、創立36年目でメンバーは68名です。WCSは、10年前からフィリピンのセブ島、小野田さんで有名なルバング島RCとつき合っています。最近では私たちの呼びかけで、海南西RC、有田2000RC、御坊東RCの4クラブと台湾の姉妹クラブのが概ね、毎年共同で実施しています。

フィリピンが抱えている貧困問題は、生活環境や人口問題、教育に至るまで、大きな影響を与えています。私たちは、過去において、水対策や生活環境の改善、人口問題、医療・出産・健康管理、孤児問題、デイケアセンターなど取り組んできました。しかし、将来的な改善においては、まだまだ不十分で、今後は、時間がかかりますが、根本的な貧困からの脱却に伴う、教育・就業といった人材育成が不可欠です。

私たちが支援するフィリピン・セブでは、貧困家庭が多く、行政の支援も少ないことから、教育環境の整備が遅れており、学校設備も充実していません。また、親の子供に対する教育においては、目先の生活に追われる中で、将来に対する教育の考え方が乏しく、貧困から脱却できない等の悪循環に陥る問題を抱えています。このため、セブの各ロータリークラブでは、将来の職業、ビジネスに活かせる技術の習得が急務であると考えており、行政やRCC(ロータリークラブ共同体)と協力して、将来を見据えた子供に対する教育。特に今後の社会で重要となるIT教育に着目し推進しています。ちょうど私の仕事はコンピュータ会社です。WCSを通じて、職業奉仕もできますので、日本で不要となったパソコンを回収し、再整備し、フィリピンの小学校等で再度、役立ててもらうことから始めました。中古パソコンの輸出では、和歌山税関(無税)及び近畿経済産業局(輸出規制)の了解も得られ、同時にフィリピン側の受け入れや輸出手続きを行い、過去に200台以上のパソコンを送ることができました。今年度も80台のパソコンとテレビ100台、プリンター10台、ミシン5台等を送ります。

2002-2003年度 給水配管(井戸)及び浄水装置の設備、ビタミン供給と教育援助、孤児の職業トレーニング支援、孤児院の支援

2003-2004年度 人口問題と生活改善(出産健康管理・助産施設、デイケアセンター整備)

2004-2005年度 第3810地区ルバング島RC
カシュウナツ植林プロジェクト 苗木15,000本
鶏、豚の増殖レンタルプロジェクト 鶏100羽、豚50匹

2005-2006年度 第3860地区マンダウエイストRC
職業問題と教育環境の改善
(IT教育支援)
日本の中古パソコンを再整備し、小学校等に設置

2006-2007年度 フィリピン・レイテ島南部での地滑りの被害の復興支援、IT教育支援

2007-2008年度 フィリピン障害児への車椅子等の支援

2008-2009年度 セブ島の教育、医療支援、PC
ルバング島の井戸

2009-2010年度 セブ島の教育、医療支援、孤児院
婦人の共同作業所
ルバング島の教育支援

*2008-2009年度から、マングローブ植林を毎年継続。

私が、これまでのWCS活動で感じたことは、水、識字、保健・飢餓問題といった「生命」や「生活」などの問題の全ての根源は、国の情勢、政治と深くかかわり、政府や地域行政の進め方、施策、資金問題などが影響しています。このため、生活、教育、就業問題が改善されず、底辺の住民は常に貧困と戦っているということです。

更に、災害や紛争、戦争などの要因も重なり、追い討ちをかけているといった悲惨なケースもあります。特に最近では、被支援国の大災害が目立ちます。

このため、私たちの支援のあり方、WCSの活動も少し考え直す必要があるのでは?と最近、感じています。

活動や支援プログラムには当然お金が必要ですが、金額の大小にかかわらず、一時的な生活支援金は緊急を要するものを除き、根本的な解決にはならない気がします。たとえ、小規模なプロジェクトであっても、将来に役立つ地道な活動に活用してもらいたいと考えます。

貧困からの脱却が無い限り、瞬間的に生活が満たされても、すぐもとの悪循環に陥ってしまいます。このため、自立に向けて、生き甲斐を感じ、目的や希望を持って労働し、生活の糧が得られるようにするための支援が必要ではないでしょうか。

労働や生産活動に必要な技術や知識の習得、農業や漁業など生産活動に必要な原資など、具体的に地域の立地や環境にあったプロジェクトを現場のロータリークラブと相談しながら進めていく必要があります。相手のロータリークラブだけにプロジェクトを任せると後でトラブルや信頼が損なわれたりするケースも多々あります。

もちろん困っている人々は全世界に沢山おられます。しかし、私たちの力では全てを支援することは出来ません。国レベルではODA(政府開発援助)やJICA(国際協力機構)などもあり、また、民間でもNGOなど支援する団体や組織も沢山あり、ロータリーだけではありません。

ただ、ロータリーにはロータリーのやり方、互いの国のロータリアンが協力し合って、友情と信頼関係でプロジェクトを進めていくことの良さがあります。そして、何よりも友好関係で結ばれた強い絆が活動を支え、活動の喜びを分かち合えることにあります。

私は、少なくとも、何かの縁があって共同でWCSのプロジェクトと一緒にすることになった。それで良いと思います。いくら困っている人がいても、知らない人だらけで、どうしたらよいか分からないところには、手を差し伸べることは出来ません。

また、地理的な条件もあると思います。出来るだけ近隣諸国のご近所つき合いの支援をすることは、交通や時間的な問題もなく、お互いの交流もし易いため、疎遠になることなく、無理なく、つき合いできると思います。アフリカや南米、中東も重要ですが、ロータリーは世界にあります。アメリカ、ヨーロッパのロータリーなど、それぞれ、

近くの地域でWCSを進めることで、支援国をカバーしあえるのではないのでしょうか?

また、私はWCS活動には、今後、ローターアクトのメンバーに加わってもらいたいと考えています。相手国のロータリーは比較的メンバーが少なく、ロータリー共同体のボランティアやローターアクトと一緒に活動しています。若者同士が汗を共にかくことも、これからは大切です。さらに、これからは、ロータリアン以外の人の理解と協力が求められています。ロータリーでの職業奉仕として、たいていの業種は揃っていますが、より専門の技術や知識が必要な場合があり、多くの協力が得られれば、質の高い支援プロジェクトが出来ます。

いずれにしても、WCSで一番大切なことは、相手国のロータリークラブを必ず訪問し、自分の目で見て、肌で感じ、同じロータリアンとして、友好・交流を深め、信頼を築いていく中で、相手国の困っている現状を正しく理解することができます。そして、効果的な支援プログラムを一緒に考えていくことが出来るようになるのでは?と思います。WCS活動は決して、1年間で達成できる簡単なものではなく、ありません。将来を見据えた地道な活動です。長期のプランニングが必要です。段階を踏んで共に取り組むことが大切だと思えます。

以上のことから、地区の委員会では、できるだけ多くのロータリアンの方々にこの活動を知ってもらい、参加してもらおうためのお手伝いが出来ればと活動しています。具体的には、きっかけづくりから、手続き、パートナー探しなど、委員のこれまでの経験を活かし、また、先進クラブの知恵やアドバイスをもらい、あらゆる相談に応じています。中には直接、出来ないこともあるかもしれませんが、なんとかなるように一生懸命に取り組みますので、ご協力をお願いします。

最後にWCS活動も含めて、ロータリーの活動に不可欠なのがITの活用です。これまで、お話ししてきたWCS活動においても、相手国との連絡や意思疎通はメールやホームページの活用が必要です。特に最近ではコミュニケーションサイトをクラブやロータリアン個人が持ち、お互いの意見交換を絶えず行っています。写真や動画(ビデオ)、Skype(無料のテレビ電話)も使えます。最近ではYouTubeやUSTREAM、Twitterなどのツールも効果的です。

ロータリーの国際部門、財団部門、青少年部門でも外部とのやり取りが不可欠です。また、Webでの便利な翻訳ツールや情報収集、訪問旅行の手配まで、全てネットでできます。便利さと、より詳細な情報交換をリアルタイムに行えることです。

ただ、私は全てのロータリアンにコミュニケーションはITでと強いているわけではありません。苦手な方もいます。なんといっても、一番良いのは、相手の方と直に話し、実際に会うのが良いに決まっています。

でも、否定するのではなく、便利さと最近の優れた機能は理解していただき、クラブの中や自分の家族、従業員でできる人に協力してもらえれば、いいと思います。特にWCS活動は一人で出来ませんから、多くの人の協力が必要です。出来るだけ多くの人に関わってもらい理解を深めてもらうことも大切です。

参加できなかったメンバーへの報告もより詳しくリアルに行くことが必要です。

また、ロータリーで、今、必要なことは活動の歴史をデータとして、将来に残し、活用できるかが課題です。紙媒体では無理があり、検索もし辛く、無くなることもあります。先輩や私たちが活動してきた貴重な記録をIT活用によって、引き継いでいくことが重要です。

今後とも宜しくお願いします。